

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成28年度	回 数	第13回
日 時	平成28年12月27日 午前9時30分～11時30分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 間野資源循環部長 野崎まちづくり部長 曾我教育部長 欠席者:なし		
次 第	1. 開会 2. 協議事項 (1) 平成28年12月定例会を振り返って (2) 平成29年度組織・定数について 3. 報告事項 (1) 自席周辺のコンセント類点検について (2) 庁舎内喫煙室の廃止について (3) 新型インフルエンザ等対策 業務継続計画の策定について (4) 平成29年3月定例会提出予定案件・施政方針説明事項について (5) その他 4. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

1年間、大過なく市政運営できたことに心から感謝を申し上げたい。

振り返れば今年には災害の多い1年だったと思う。熊本・大分、鳥取、そして先日の福島県沖等、各地で地震があり、多くの方が被災された。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の皆さまにお見舞いを申し上げる。

当市も、8月22日に台風9号によって平成に入って最大の被害を被り、50軒以上が床上浸水した。想定外の事態に加え、電話が鳴り続けて市内の状況が把握できず、優先順位をつけて戦略的に対応することが、市役所も消防署・消防団もできなかった。先日には、消防署・消防団と検証会議を行った。それらも踏まえて、真剣に考え直さなければならない。

一方、地方創生の流れでいくつかの事業が採択されて、東村山創生の取り組みが本格化する。単なる産業振興やハード面でのまちづくりに留まらない。課題もある程度明確になり、方向性も定まってきた年だった。

今後、ハード・ソフト両面で東村山創生を進めて、いかに税を上げて、市民福祉・市民ニーズに応えられる基礎体力をつけるか、これは私の市長就任時からのテーマだ。それを踏まえて来年度にどのように進めていくか、各部長は各部の業務の中で中長期的に考えていただき、部の組織運営を進めていただきたい。

12月21日～25日まで中国を訪問した。

北京に到着後、中国の日本友好協会のアテンドで、スポーツ行政を統括する国家体育総局と面談した。東村山市への女子サッカー、または卓球のキャンプ誘致を提案した。中国の体育総局に具体的なキャンプ誘致活動を行ったのは当市が初めてだったようで、非常に関心を示し、様々な質問もいただいた。先方は、それぞれの協会と図って、受け入れ体制や練習施設を考慮して判断することになる。やはり、サッカーで日本の他の自治体と競うのは厳しいと率直に感じた。進め方については、再度検討させていただきたい。スポーツ交流についても様々な話を伺った。中国も豊かになり、子ども達があまり外で遊ばなくなって体力が低下しているのが課題で、スポーツ競技、特にサッカーに力を入れているようだ。

翌日には上海経由で蘇州に入り、教育局と面談した。「招待する用意がある」と伝えたところ、「派遣したい」とのことだった。実験小学校の校長と、蘇州市サッカー連盟の責任者が同席した。サッカーを中心とした蘇州市とのスポーツ交流は、来年度からでも可能な感触を受けた。蘇州市は人口800万を超える大都市で、区ごとに体育学校があり幼稚園・小学校を中心にエリート教育を行っている。その一つの学校を訪問させていただいた。オリンピック選手を何人輩出するか、各市・各省で競っている。感触としては悪くないので、どのような形でうまく結びつけていくかだ。キャンプ誘致できて、そのチームが金メダルを取るようなことになれば、インバウンド効果が期待できる。新宿近辺まで観光に来ている多くの中国人をどうやってここまで呼び込むか、東村山創生に効果をもたらすか、市内の中小企業とも一体となって、経済的な効果をどう生んでいくか。今後はインバウンドを含めて研究する必要がある。

いかにお互いの利益を生むか。オリンピック抜きにしても、隣国・中国を基礎的自治体として

の市の発展にうまく結びつけるかを考えるべきと感じた。

糸魚川市の大規模火災に驚いた。火災、犯罪等には十分気をつけて、明るく良い年を迎えるために、各部長は英気を養っていただきたい。よろしく願います。

2. 協議事項

(1) 平成28年12月定例会を振り返って

・平成28年市議会12月定例会について、各部の所感や課題を共有した。

(2) 平成29年度組織・定数について

・平成29年度組織・定数について、各部各課の課題や要望をもとに所管部で検討した結果を共有し、協議を行った。

3. 報告事項

(1) 自席周辺のコンセント類点検について

18日に熊本市役所10階で火災が発生。約300平方メートル焼失。出火元は、パソコン等の電気機器類の損傷から、コンセントであった。

耐震改修工事を進めているので、見える範囲で机付近のたこ足配線を点検したが、各職員においては、執務室の机の下に入っているたこ足について再度点検願う。

(2) 庁舎内喫煙室の廃止について

庁舎・敷地内禁煙推進検討会で庁舎内の喫煙室を段階的に廃止することを集約。11月7日の安全衛生委員会で提言書を取りまとめ、渡部市長に提出した。

本庁舎・いきいきプラザにある喫煙室等は、今後、段階的に廃止する。

厚生労働省においても、官公庁や競技場、社会福祉施設は建物内を完全禁煙、医療機関、学校は敷地内を禁煙とする法案の提出を予定しており、遅くとも4年後のオリンピック・パラリンピックまでには施行される可能性が高い。

(3) 新型インフルエンザ等対策 業務継続計画の策定について

新型インフルエンザ等に関する「業務継続計画」と「対策マニュアル」は、総務会議を通じ、各所管で内容を確認していただき、一定の形でまとまった。

当市も特定接種の対象市になるが、接種対象人数は限られている。実際に発生したら、通常業務を行う者はほとんどいない事態が想定される。

地域防災計画のBCPと整合性が取れるように調整したので、確認願いたい。

(4) 平成29年3月定例会提出予定案件・施政方針説明事項について

市議会3月定例会提出予定案件・施政方針説明事項について確認した。

(5) その他

〈広告つき案内板設置について〉

広告収入を業者が徴収し、それを原資として、いきいきプラザ1階風除室に案内板を設置。

市の全体図、広告、デジタルサイネージに対応したディスプレイを設置し、将来的には各行事の映像記録等を流す予定である。1月4日から仮運用する。

4. 閉会